

清瀬市立小中学校

子供の読書活動及び図書館運営の活性化への取り組み

令和7年5月

清瀬市教育委員会取りまとめ

子供の読書活動を活性化する六つの戦略

A 子供を本に誘う「人」の活用

B 子供が本を手に取りたくなる
ような「図書資料」の充実

C 子供を読書空間に誘う「環境」の整備

D 子供が本と向き合うシステム構築や仕組みづくり

E 子供が本と向き合う時と場の創造

F 家庭や地域との協働・啓発
と読書文化の醸成

A 子供を本に誘う「人」の活用

【第四小学校:地域人材の活用】



朝の読書タイムを活用して、**保護者・地域の方**による**読み聞かせ**を行います。**学校支援本部**より保護者や地域の方にボランティアを募集していただき、各教室にて実施します。

【第十小学校:地域人材の活用】



図書ボランティアによる読み聞かせ(月1回)

読書旬間「お話玉手箱」
(**教員**による読み聞かせ)

【清明小学校:地域人材の活用】



図書館支援員による読み聞かせ・ブックトーク・**エプロンシアター**

【清明小学校:地域人材の活用】



デイサービス総合リハビリテーション施設
「hitonowa」との連携による図書環境整備

B 子供が本を手に取りたくなるような「図書資料」の充実

【第六小学校:ライカにおけるCS文庫】



ライカ開催時にだけ読むことができる**特別な本**
(地域の方に、**移動式書架**を制作していただきました。保護者や
地域の方から**寄贈していただいた本**の数々)

【第八小学校:宅配制度を活用した公立図書館との連携】



○本校では、児童の読書活動を推進するために、学校図書館で市立図書館の本を活用できるようにしています。

○これまでは学校からの申し込みによる団体貸し出しのみの利用でしたが、清瀬市立図書館の利用カードを作成いただくことで、学校でも図書館の資料や清瀬市立図書館所蔵の電子図書をご利用いただくことができるようになります。

○このため、昨年度中に、図書館の利用カードを作成するための意向調査を行い、カードを持っていなかった児童もカードを作成しました。
新1年生と転入生については、5月中に作成を予定しています。

○児童一人一人が本を借りるだけでなく、学級・学校で市立図書館と連携を図り、「おうち図書館」を推進できるよう環境整備を行っています。

【第四中学校:廃棄本の展示】



図書委員会が廃棄する本を有効利用できないかと考え、展示を行いました。立ち寄った生徒は本校で長年にわたって読まれた名著を手にとっていました。

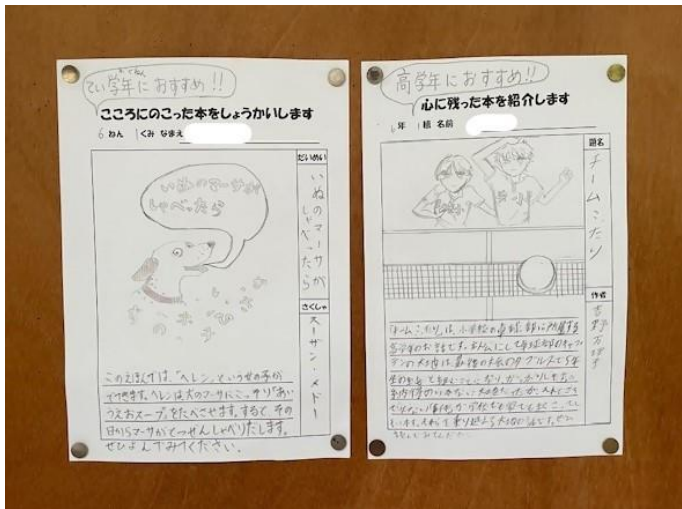
C 子供を読書空間に誘う「環境」の整備

【清瀬小学校:機能別エリア分け】



教室の広さの二部屋分あるスペースを、機能別に分けて設置した。一方は、机と椅子、電子黒板のある**学習機能**を優先した部屋。もう一方はマット敷きのスペース(写真)とソファを置いた**リラクゼーション**を優先した部屋。用途に合わせて使用したり、児童が選んで居場所としたりしている。また**学校図書館の使用時間を全ての学年に割り当て**、使用頻度の少ない高学年も使えるようカリキュラムを工夫している。

【芝山小学校:図書委員おススメ本の掲示(左) 新刊本の紹介(右)】



図書委員会の児童によるお勧め本の紹介です。低・中・高のそれぞれにあった本を**子供たちが選んで**紹介しています。

【清明小学校:おススメ本の紹介】

おすすめ本・**季節の本**の紹介



新刊本などが入ったときに、**廊下の掲示板を活用**して紹介しています。



第三小学校 教員によるおススメ本の展示



先生方のおすすめの本をカードにして図書室前に掲示しています(左)。
先生方のおすすめの本を図書室前の机に出して手に**取れるようにした**こともあります(右)。

第四小学校 おススメ本の展示



読書月間期間中に、各先生がおすすめする本を紹介しました。先生たちが選んだ本は学校図書館のめだつ場所に
掲示しています。

第三小学校 図書委員によるおススメ本の展示



図書委員がおすすめの本の
ポップを書いて本と共に展示
することもあります。

第四小学校 おススメ本の展示



図書学校図書館の入り口扉には、四小の**図書館キャラクター**の「ヨンデちゃん」のイラストが貼られています。図書館内にも存在しており、四小の隠れキャラ的な存在です。児童が学校図書館に親しみを感じられるように工夫しています。令和7年度は**新キャラクターの募集**も検討し、より親しみやすい図書館運営をめざします。

第七小学校 スローガン本棚



- 令和6年度の図書委員のアイデアによる。
- 本棚一つを児童会目標に関連する本を入れるために利用。
- 令和6年度は「元気 あいさつ 助け合う 七小」のテーマに合わせて、健康に関する本、友情物の物語など、児童からの推薦で紹介用にその本棚に置いた。

第七小学校 環境整備



- ソファ、カーペットの設置(②)
- ななサポ(学校支援本部)ビブリオ部による装飾(①③④)、朝読書での読み聞かせ

第十小学校 読書に親しむ空間の創造



ソファでくつろいで読書（常時）



図書ボランティアによる装飾（常時）

清瀬中学校 配架の工夫



思わず本を手に取りたくなる配架(展示)の工夫

第三中学校 移動図書館



本日、図書委員会が行われ、「移動図書館」を設置してくれました。

上の写真は、2回渡り廊下に設置されたものです。

3年生の夏休みの課題である「税の作文」にかかわる本も紹介されています。

ぜひ、立ち読みしてってください。

第四中学校 ビーズクッションでリラックスできる図書館



座って落ち着けるスペースだけでなく、柔らかく体を受け止めてくれるクッション「yogibo」が置かれたリラックスコーナーがあります。

午前中は登校支援の「ステップルーム」としても使われています。

○3階の渡り廊下にある移動図書館です。様々なジャンルの本が並んでいます。

さらに、移動図書館を使用するルールが図書委員会で決められていました。

- (1)勝手に持ち出さない
- (2)元場所にもどす
- (3)移動図書館付近では、静かに過ごし、本で遊ばない。
- (4)掲示物に触らない
- (5)本を借りたい人は、担当の先生に申し出る

などが書かれていました。

○生徒会朝礼がないので来週の昼の放送で全校生徒にお知らせするそうです。

○皆さんも夏休み中に読み本でも探してみてくださいはどうか？

第二中学校 出張図書館



↑ 返却BOX



1年フロア



2年フロア



3年フロア

本校の図書室は、生徒の教室から距離があり、昼休み中の利用率が低いことが課題である。そこで、図書室の利用率を高めることと、生徒が本に触れ読書をするきっかけを作る目的で図書委員会の主催で各学年に出張図書館を設置した。出張図書館では、各学年のフロアに図書委員が選んだおすすめの本を20冊ほど設置した。学年に貸し出した本を並べることで、生徒個人での貸出と返却の手続きを省略した。また、返却ボックスを各フロアに設置し、気軽に返却できるようにした。結果として、昼休みに出張図書館コーナーに行く姿が見られ、本に対する興味関心を向上させることができた。

鼻・杜子春

著者:芥川龍之介
分類番号:913 あ

内容

平安時代の伝説的な画師、良秀。天下一の腕前を持つ良秀に殿方から地獄変の屏風を描くよう依頼を受ける。最初は順調に進んでいたものの、とある情景を“見たことがないから描けない”、と言い出し――？

芥川龍之介の作品が複数収録された小説。

おすすめポイント

あらすじで紹介した「地獄変」という作品は衝撃が強くおすすめです！

作品を完成させる
たとえ何を犠牲にしよう



謎解きはディナーのあとで

著者 東川篤哉
分類番号 913ひ

おすすめポイント

いくつかの話に分かれているので読みやすく、一度見たら続きが気になってしまうような小説です。影山の毒舌が癖になります。



内容

宝生グループという世界的な企業のお嬢様である宝生麗子は国立所の警察官。麗子を支えているのが毒舌執事の影山。影山の推理とともに麗子が難事件を解決していくミステリー小説！！

○図書委員会の取組の一つに、「読書案内」があります。

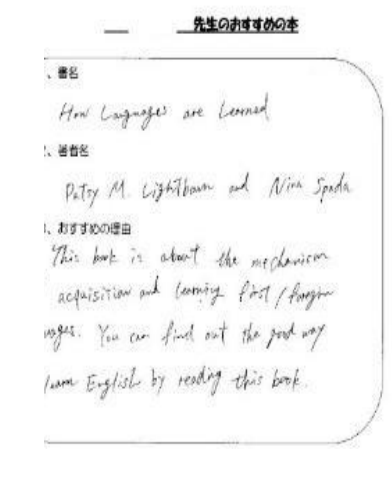
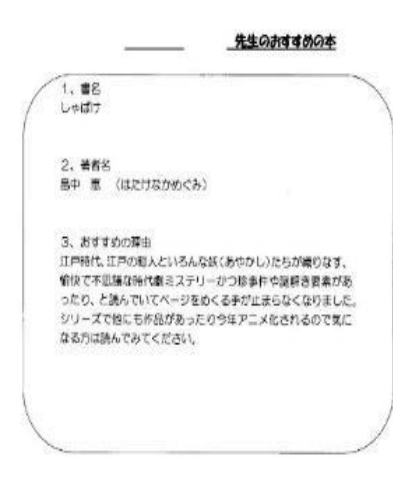
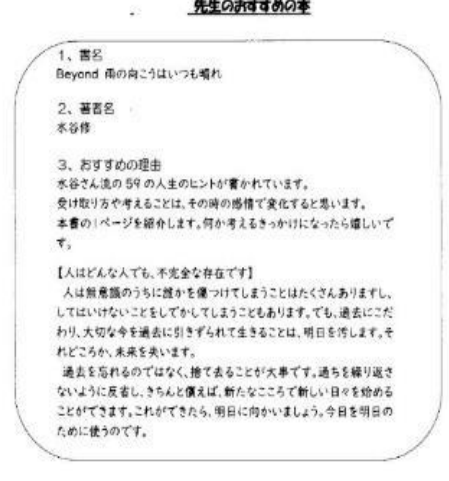
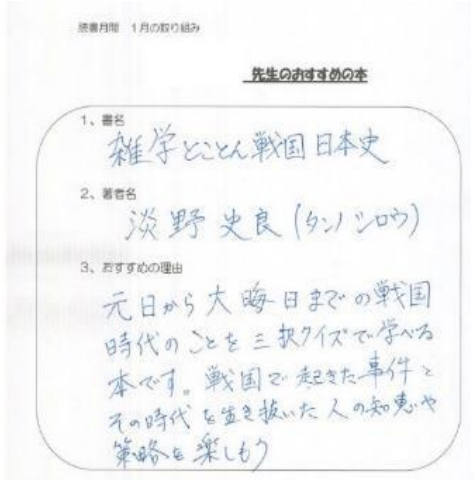
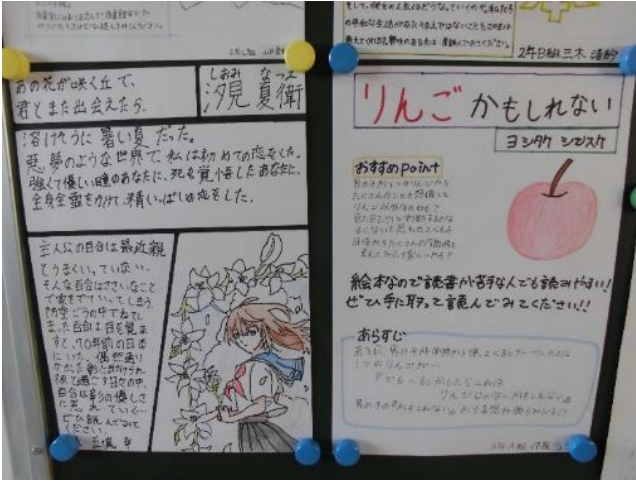
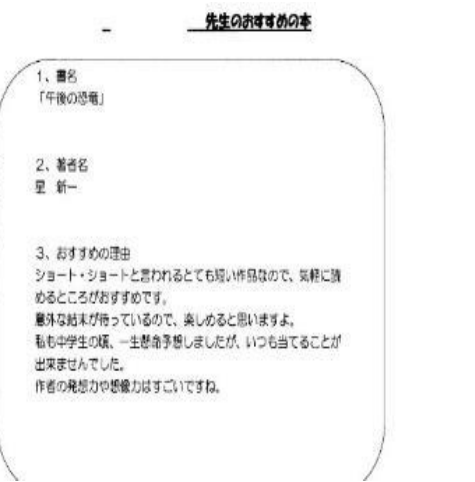
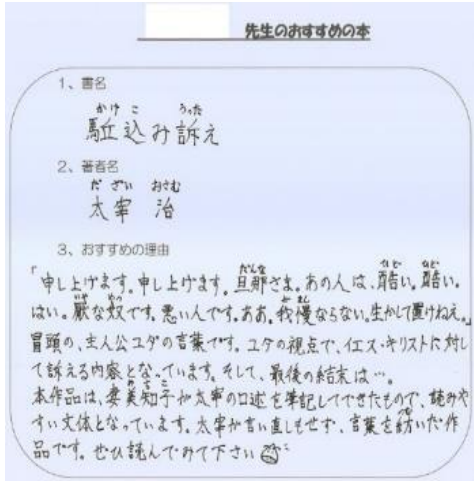
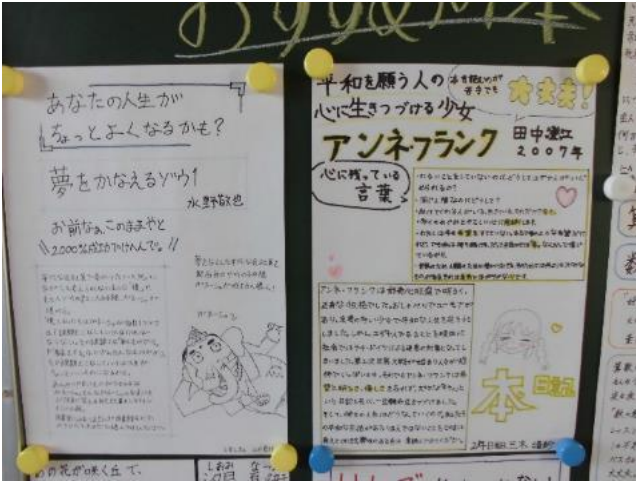
○各委員が紹介したい本を選び、生徒が「紹介 カード」を作成しています。

○前期と後期で、一人1冊、計36冊の紹介になります。

○3年続ければ、100冊になります。

○本年度も作成中であり、図書館長に公立図書館でも「五中生の紹介本」などとして、使用してもらえないかと、相談中です。

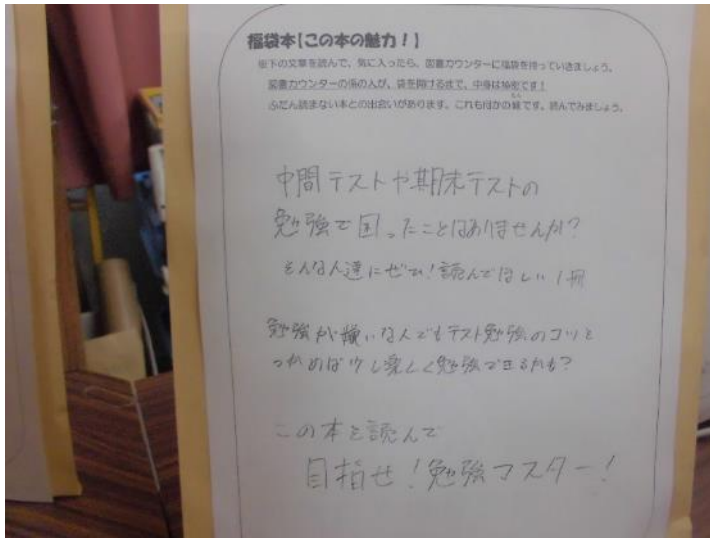
第四中学校 生徒と先生のおすすめ本



図書委員会の生徒が「おすすめ本」について掲示しました。

先生方にも「おすすめ本」を聞きGoogle classroomに掲示するとともに、放送委員がお昼の放送で全校生徒に紹介しました。

第四中学校 本の福袋コーナー



図書委員会で、借りるまで絶対に開けてはいけない「本の福袋」をつくりました。

ずらっと並んだ福袋の表には、それぞれ手書きのメッセージが書かれています。

D 子供が本と向き合うシステム構築や仕組みづくり

【芝山小学校:表彰制度(図書委員会)】

た ど く しょう
多 読 賞

低学年は100冊、高学年は50冊達成すると、賞状がもらえます。
(読書記録カードを持ってくるか、図書委員会の人に声をかけて借りた冊数をパソコンで調べてもらってください。)

スタンプラリーの取り組みを行っています。
図書室にスタンプカードがあります。
スタンプがたまるとしおりをもらえます。

☆いろいろな種類のしおりを用意しています。
ぜひ、たくさん本を読んでください!

図書委員会

年間を通して読んだ本を「読書ノート」に記録し、その記録をもとに冊数を調べて賞状やしおりをプレゼントする取組を行っています。

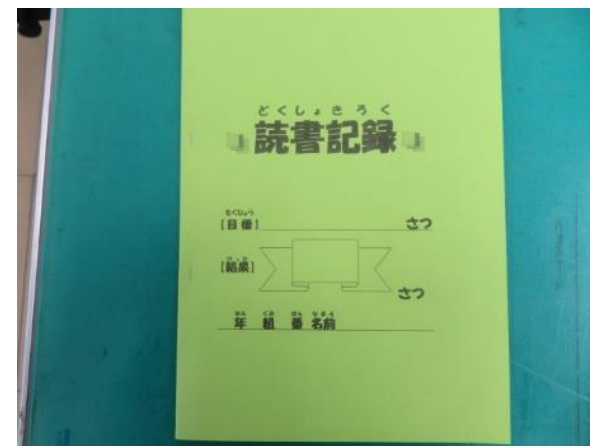
【第四小学校:学級文庫の充実】

学級文庫の充実が、方策としては一番重要です。圧倒的に本の数が少ない現状でした。そこで、清瀬市図書館と連携して、各学級に50冊ずつ、毎月入れ替えできるようにします。

具体的には、毎月1週目に中学年3クラスに150冊、2週目に高学年3クラスに150冊、3週目に低学年3クラスに150冊の団体貸出を、清瀬市図書館と連携して今年度より実施しています。

さらに、昨年度は低学年でしか実施できていなかった、国語の物語文や説明文の「並行読書」、総合や社会での「調べ学習」関連等の図書の団体貸出も、すべての学年で実施します。

【第四小学校:読書記録の活用】



児童の読書への意欲を喚起するとともに、自身の読書の軌跡を残し、ふりかえるための記録用紙を工夫し、活用しています。「清瀬の100冊」をあらかじめ書き込んでおいたり、自分のお気に入りの本を記録したり、「読書すごろく」のページを用意したりして、児童が楽しみながら記入できるようにしました。

【第四小学校:読書記録の活用】



春の「全国こどもの読書週間」のHPからしおりをダウンロード。それを児童自身が**目標設定**できたら、その「しおり」をゲットできるようにして、1年のスタート、意欲を高める工夫をしています。昨年度から実施

【第七小学校:読書貯金の運用】

- 児童一人一人に**通帳**を配布。
- 低学年は読んだ本の数、高学年はページ数を記入。
- 年度末に**表彰**を予定。

これは、あなたが読んだ本を記録できる読書通帳です。この通帳では、実際にお金をはたかせることはできませんが、おにはおやまさん、おやまさんにはおやまさんのお金をはたかせる時があります。たくさんのお金を貯めて、あなたがおやまさんにお金をはたかせることができます。 【書き方】			
No	本のタイトル	ページ	ひとくちかんそう (読書量)
1	ももたろう	20	☆☆☆☆
2	おらしまたろう	15	☆☆☆☆

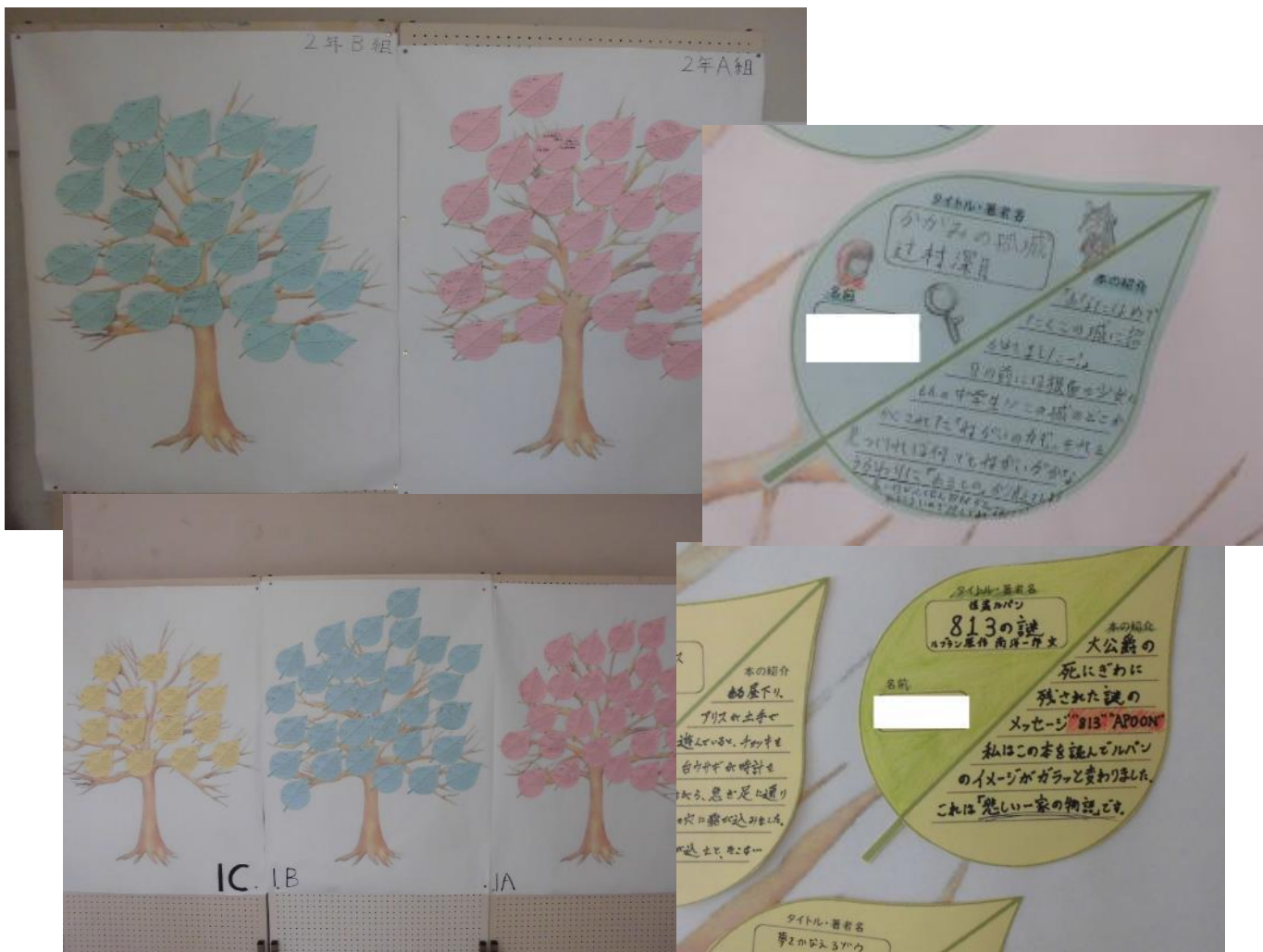
【第三中学校:ポップコンテスト】



- 3階の渡り廊下に1年生の「図書ポップコンテスト」が展示されています。
- 国語の授業時に、学校図書館についてのオリエンテーションで自分の好きな本の紹介をポップ形式で作成しました。
- 投票箱を用意され、投票形式で良い作品が選ばれ、ポップ社の全国学校図書館ポップコンテストに応募されるそうです。
- 素晴らしい作品が展示されています。学校公開時にはぜひご覧ください。



【第四中学校:読書の木】



図書委員会が各クラスによびかけ、「読書の木」を作成しました。

一枚一枚の葉には、それぞれ自分の読んだ本についての紹介が書かれています。

【第四中学校:小中連携 本のPOPづくり】

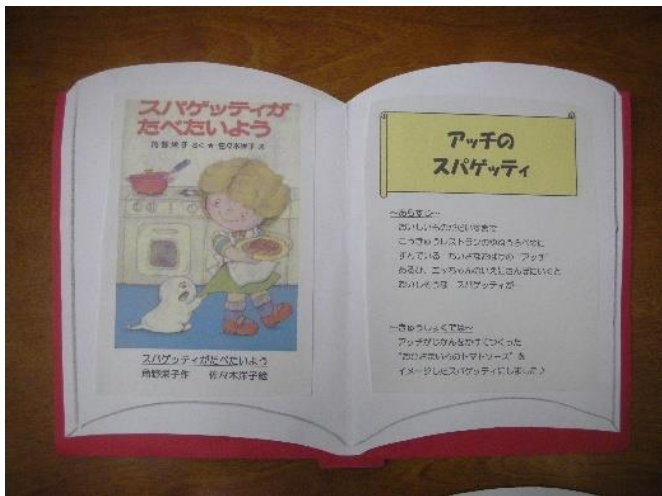


中学1年生が、小学生に読書の魅力を伝えるためにPOPをつくりました。

代表生徒が母校である第四小学校と芝山小学校に持参し、読書週間に合わせて掲示していただきました。小学校の児童からは沢山のお礼のメッセージをいただきました。

E 子供が本と向き合う**時と場**の創造

【清瀬小学校:学校給食との関連付け】



子供たちの大好きな給食メニューとコラボさせた「**ブックメニュー**」を月1回行っている。**絵本や小説に出てくる食事を給食メニューに取り入れる**ことにより、本を読んだ時にそそられる食欲をベースに、文中にある食材への関心を高めたり、味の想像と実際の味覚とを連結させたりすることにより食育を推進させ、読書への興味を後押しする。
ブックメニュー実施期間の前後には、**図書館特設コーナー**でその本を展示し、手に取って読めるようにする。

【芝山小学校:朝読書】



毎週金曜日の朝8:30～8:40

10分間を朝読書に取り組んでいます。

学級文庫や図書室で借りた本、高学年児童の中には家から持ってきた本を読んでいます。

【第三小学校:学校給食との関連付け】



栄養士が読書旬間期間中(学期1回)に**お話に出てくるメニュー**を給食に取り入れています。おはなし給食に取り上げた本を借りる児童も出てきました。

【清明小学校:ブックトーク】



図書委員によるブックトーク

【第四小学校:朝読書】



令和7年度 【生活時程表】 清瀬第四小学校

	月	火	水	木	金	B時程
	C時程				C時程	
児童登校	8:15(昇降口開錠)~8:25(本を選んで着席完了)					
読書タイム	8:25~8:40					
学級の時間	8:40~8:45	8:40~8:50			8:40~8:45	8:40~8:45
1 1校時	8:45~9:30	8:50~9:35			8:45~9:30	8:45~9:30

本校の一番の特色は、具体的に読書タイムを週時程に位置付けたことです。

毎朝(月~金)「読書タイム」を15分間、生活時程表に位置付け、どっぴりと本に親しみその世界に浸る時間としました。

【第十小学校:読書旬間】



年間2回の読書旬間

図書委員会児童による読み聞かせ

【清明小学校:朝読書】



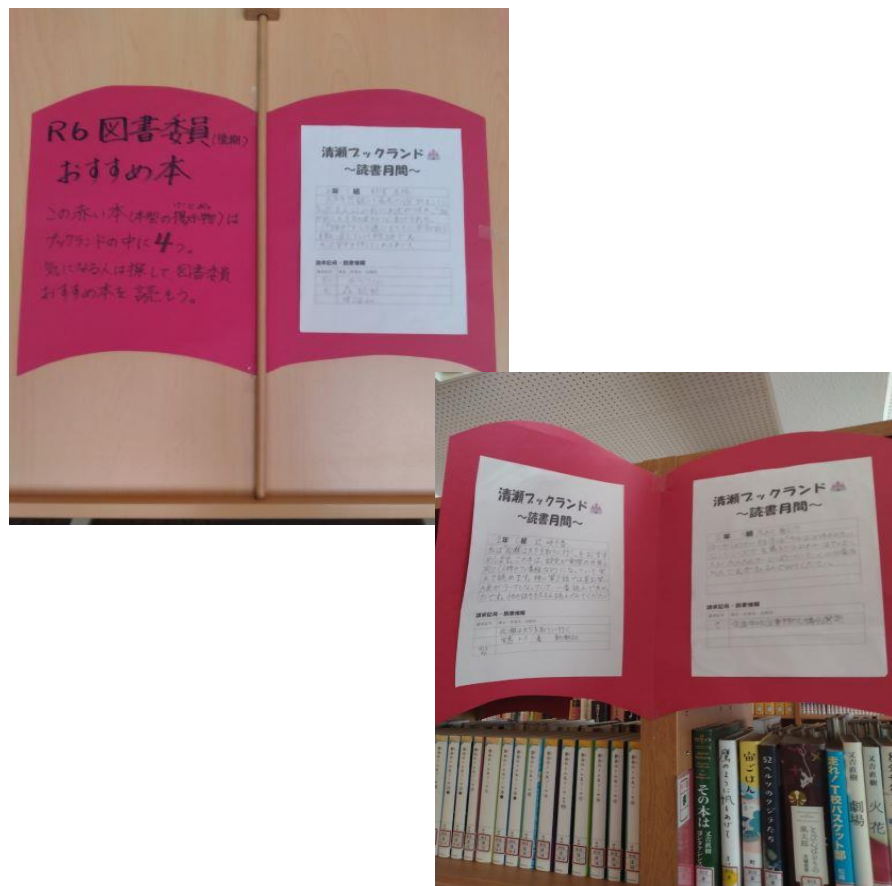
【清明小学校:読書旬間】



読書旬間に3年生が各ブースで2年生に読み聞かせ

朝読書で6年生が1年生に読み聞かせ

【清瀬中学校:おススメ本の紹介】



図書委員、教員によるおすすめ本

【清瀬中学校:放送を利用した啓発】

図書委員による本の紹介を昼の放送で紹介
(放送委員代読)

【第三中学校:朝読書】



○朝の8時25分から8時35分の10分間を朝読書の時間として全学級で取り組んでいます。

○通常級の写真撮影時が定期考査直前であったため、試験勉強することも認めているため半数近くの生徒が勉強をしていました。普段は、全員が朝読書に取り組んでいます。

【第三中学校：図書館給食・推し本の紹介】



○本日は、図書給食の日でした。(昇降口前に展示してあります)

○図書給食とは、図書館にある本の中に出てくる料理を学校給食で再現し、子供たちに本を読んでもらい、食にも興味をもってもらいたいという取り組みです。

○今日の給食の献立は、「春のちらし寿司、野菜と白玉団子の汁、ひな祭りゼリー」でした。昨日の桃の節句にちなんだ献立です。

○そこで、今回の図書は、ひな祭りに関連した小説を二つ紹介していました。芥川龍之介作の「雛」と浅田次郎作「雛の花」です。ぜひ、読んでみてください。



○昨日の図書委員会で、図書館の本で図書委員のおすすめの本を紹介してくれました。

【第四中学校:朝読書】

【読んだ本の記録】

*記録：読んだ本のタイトル・作者名・出版社を記入しましょう。

*対象本：マンガ・雑誌をのぞいた本。

	本のタイトル	作者名	出版社
1			
2			
3			
4			
5			
6			
8			
9			
10			
11			
12			

☆ベストリーディング賞は、読んだ本の冊数ではなく、日本一周読書MAPのマスや内容で表彰します。

☆用紙が足りない人は、図書委員会まで声をかけてください。(*^^*)

☆3月も朝読書月間ですが、朝読書の記録を書くのは1月31日までです。

令和6年度 朝読書月間 後期【12月～1月】

朝読書の記録

- 「朝読書の記録」には、朝読書で読んだ本を記録しましょう。
- 「朝読書の記録」は、自宅には持ち帰らず学校においておきましょう。

★朝読書にきちんと取り組むと、落ち着いた気持ちで1時間目の授業に臨めます。

★朝読書にきちんと取り組むと、集中力が高まります。

- ◆読書の習慣が身に着くと、たくさんの言葉を覚え、漢字にも強くなります。
- ◆読書は、自分の知らない世界を教えてください。
- ◆すてきな本との出会いは、私達に勇気や元気、温かさや優しさを教えてください。



さあ、たくさん本を読みましょう！！

清瀬市立清瀬第四中学校

	年	組	番
氏 名			

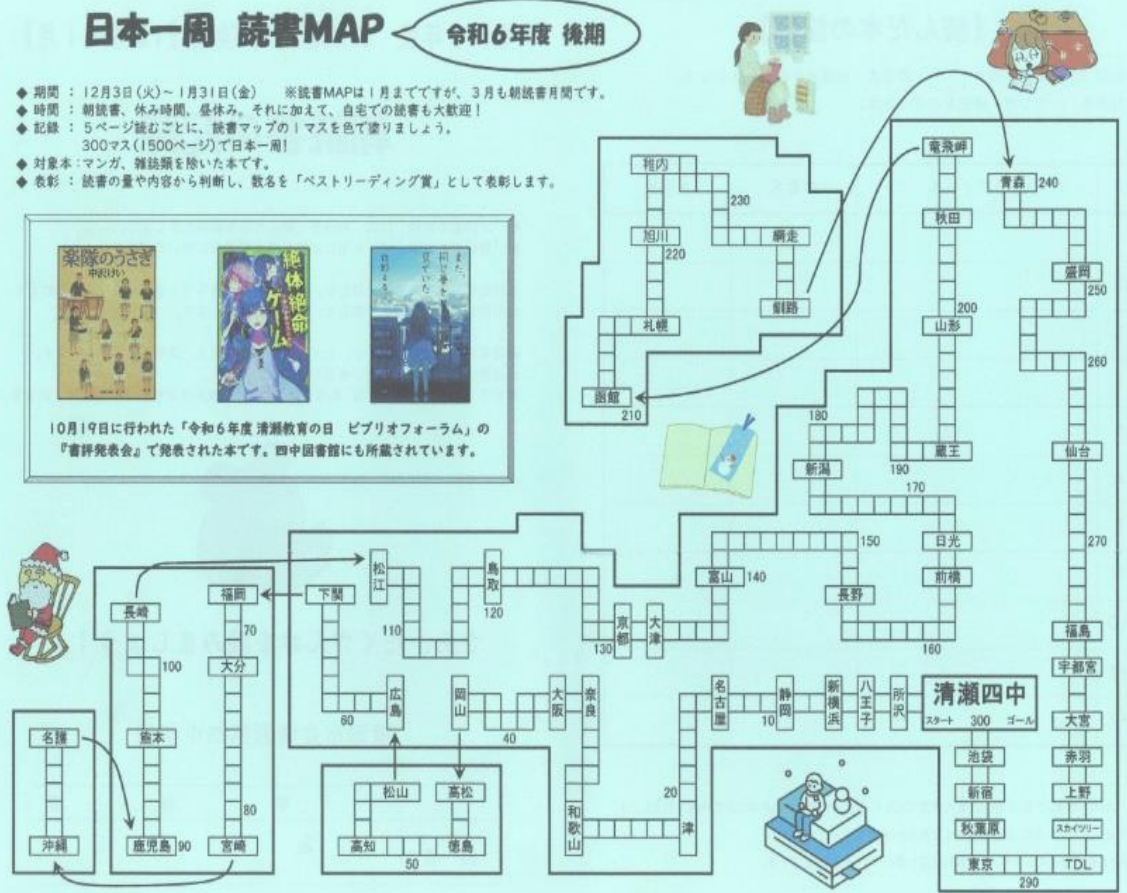
日本一周 読書MAP

令和6年度 後期

- ◆期間：12月3日(火)～1月31日(金) ※読書MAPは1月までですが、3月も朝読書月間です。
- ◆時間：朝読書、休み時間、昼休み。それに加えて、自宅での読書も大歓迎！
- ◆記録：5ページ読むごとに、読書マップの1マスの色を塗りましょう。
300マス(1500ページ)で日本一周！
- ◆対象本：マンガ、雑誌類を除いた本です。
- ◆表彰：読書の量や内容から判断し、教名を「ベストリーディング賞」として表彰します。



10月19日に行われた「令和6年度 清瀬教育の日 ビブリオフォーラム」の『書評発表会』で発表された本です。四中国書館にも所蔵されています。

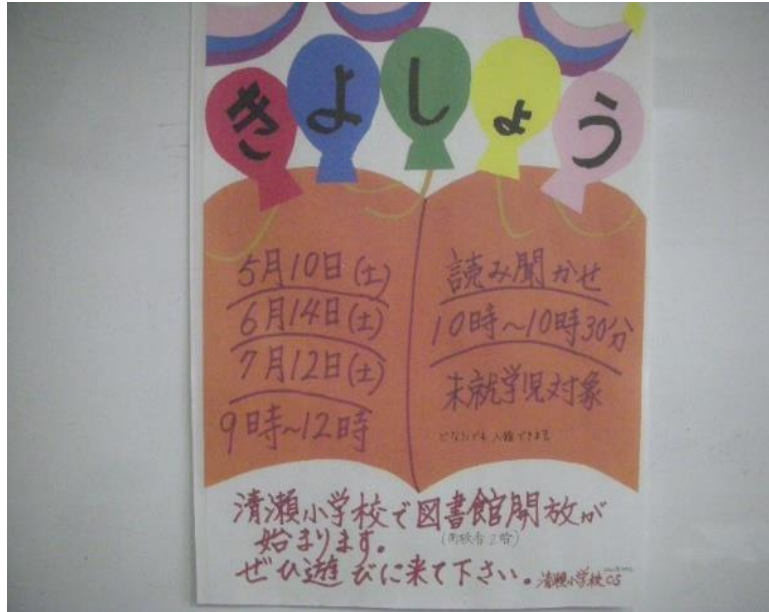


年間で8時30分から40分の時間は朝読書・朝学習の時間になっています。

朝読書では、「読んだ本の記録」や読んだページごとにマスをうめていく「読書マップ」の記入を通して、記録に残しています。年度末には生徒会朝礼で「ベストリーディング賞」を発表しています。

F 家庭や地域との協働・啓発と読書文化の醸成

【清瀬小学校：図書館の地域開放】



- 年間9回、これまで学校支援本部で行ってきたサタデースクール(特設の児童向け土曜講座)の実施に合わせて**土曜日に地域への図書館開放**を行う。
- また**就学前の園児とその保護者を対象**にした図書館支援員による「**読み聞かせ**」も実施する。
- ポスターは、市役所・しあわせ未来センターをはじめ、本校に入学してくる幼稚園・保育園にも協力をいただき園内に掲示し、読書活動を通じた就学前後の「かけはし」となる取組としている。
- なお本事業は**清小CS推進委員会**が企画し運営にあたる。

【第六小学校：図書館の地域開放(ライカ)】



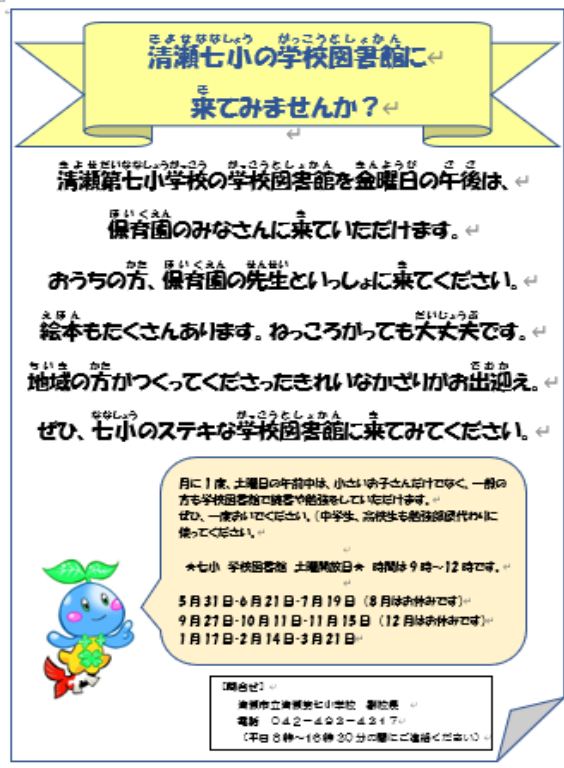
- 子供の居場所づくり
- 地域の方々が子供たちと交流できる場
- CSやウィズアイに協力を依頼
- 月1回 図書室開放(年間9回実施)



○紙芝居サークル「ひだまり」の協力によって家庭科室で、紙芝居の読み聞かせを行っていただきました。

- 今後ライカをベースとして、絵手紙教室との連携や夏季休業期間中に「自由研究相談会」を大学生と地域ボランティアを中心に開催するなど様々な企画を考案中

【第七小学校：図書館の地域開放】



○以下2事業を5月から実施予定

○金曜日の午後、**地域の保育園児に開放**

(保育士や保護者の引率による)

○月1度、土曜日の午前中、**ななサポの協力**

により、地域に開放

【第十小学校：図書館の地域開放】

令和7年度から学校図書館の地域開放を予定

【清明小学校：図書館の地域開放】



夏休み図書館開放での読み聞かせ**動画上映**

G その他の学校図書館の活用(居場所としての図書館)

学校図書館を活用した支援について

不登校生徒の状況

対象生徒は、不登校生徒及び休み始めた生徒で、支援会議で必要性を認める生徒である。

具体的な取組

教室に入ることが難しい不登校生徒に対し、安心して登校できる居場所として図書室にステップルームを設置した。個に応じた支援を行い、登校した日は、出席としている。

常駐の教員はおらず、ボランティアの大学生と空き時間の教員で協力して見守りをを行っている。教員は、授業はせず、基本的に見守る体制としている。大学生が来校時には、状況に応じ、一緒に勉強したり、ゲームや雑談をして過ごすこともある。また、大学生と一緒に画用紙や折り紙で図書室の装飾の制作をすることもある。

ステップタイムの開室時間は、9時から12時の午前中とし、登下校の時間は自由に決めることができる。登校した生徒は、自分で選んだ学習課題やタブレットを持参し、自主学习をする。登校時に職員室で記録ファイルを受け取り、自習内容を記録する。下校時に、職員室にファイルを返却してから、下校するようにしている。

授業に参加できなくても、学習の遅れが出ないよう、イヤホンを着用の上、タブレット端末を活用してオンラインで授業を受けることができる。

成果

学校には来られても教室には入れない生徒にとっての居場所になっており、継続して通えている生徒もいる。また、限定教科に参加できない生徒の居場所になることもあり、不登校の未然防止につなが

課題

担任や関係機関との関わりを続けながらも、別室登校まで至らない生徒への対応が課題である。

【第四中学校:学校図書館を活用した不登校支援～学校図書館多機能化プロジェクト～】

- 登校できるが教室に入りづらい生徒や、日々の生活の中でほっと一息つきたい生徒らの居場所やくつろげる場所として図書館を開放
- 社会事業大学学生さんたちがボランティアで生徒の見守りを実施